

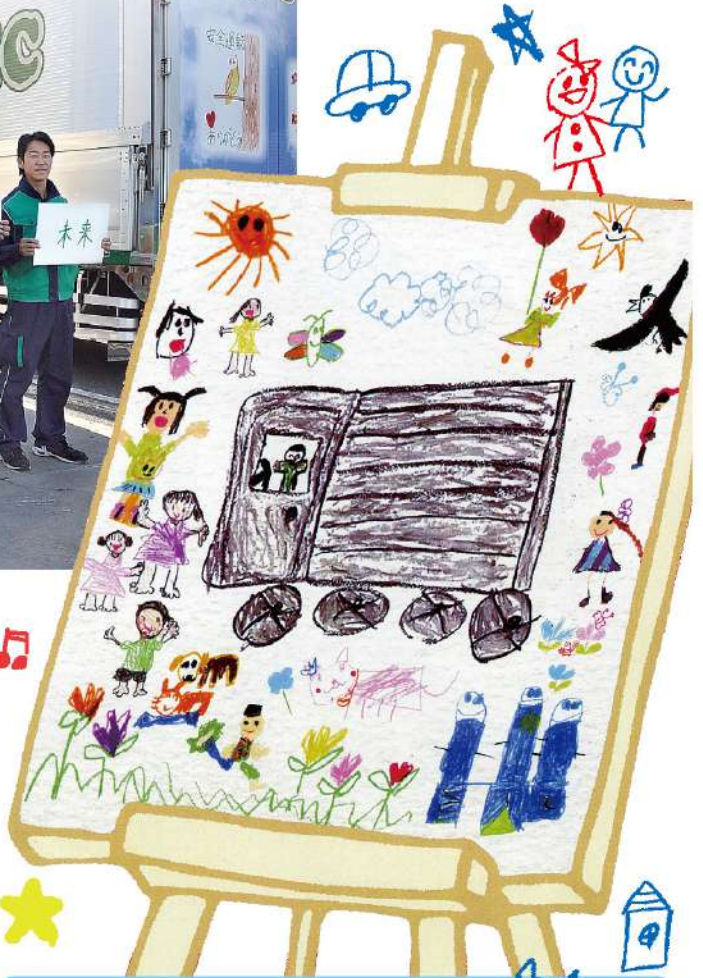


子どもの絵で事故撲滅だ! トラックに子どもの絵をラッピング

「子どもミュージアムプロジェクト」



「皆が持っている 優しく 守ろう 創ろう みんなの 未来」の標語を掲げる宮田運輸の皆さん



クルマ社会の日本は毎日、たくさんのお自動車が行き交っています。一方、運転マナーを守らない「あおり運転」やスピード違反、飲酒運転など悪質な行為が社会の問題になっています。そこで、大阪府茨木市でトラックの運送会社を経営する宮田博文さんは、安全運転を願う子どもたちの絵をトラックの荷台に張り付けて走る「子どもミュージアムプロジェクト」を行う

「やさしい気持ちになるトラック出現!」

くると、子どもたちが描いた絵には、トラック運転士は「やさしい気持ちになる」と安全運転の輪が広がっています。



きっかけ

このプロジェクトを考え、宮田さんは子どもの頃からトラック運転士に憧れていました。18歳になると、念願のトラック運転士となり、その後、運送会社の社長に就きました。しかし、宮田さんの従業員が交通事故を起こしてしまいました。当時の心境は、トラックが世界中からなくなった方が世の中が幸せになるのではないかと考えていたそうです。しかし、荷物が運ばれるのを楽しみにしている人もいます。

「優しい」を届ける仕事「トラック運転士」

すると、トラックは大切に扱うようになり、知らない街でも絵を見た通行人が手を振ってくれたり、あおり運転も少なくなりました。宮田さんは「子どもたちの絵には不思議な力があって、イライラしていた気持ちを落ち着かせて優しい気持ちにさせてくれます」と話しています。8年前から始まり今では、2000社、7500台のトラックが賛同しています。さらに、日本だけでなく、中国の北京にも広がっているんだ。



宮田社長
宮田さんの会社では志を高く持つように運転手を「運転士」と呼んでいるよ

